

授業と評価の年間計画

教科	理科	科目	化学探究 A	
履修条件 対象生徒	選択 普通科 文型 2年			
学習目標	化学的な事物・事象についての観察・実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高め、科学的に探究する能力と態度を育てるとともに、基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な自然観を身に付ける。			
学習方法	<p>【授業】 教科書、問題集、プリントを用いて授業を行う。ノートの取り方については授業の最初の時間で説明する。実験では実験ノートを活用し、科学的な観察力・技能を身に付ける。</p> <p>【家庭】 問題集は、予習にも復習にも活用できる。復習中心の学習が効果的である。この授業の内容は、3年次以降の理科でも役に立つ内容なので、反復した学習による学力の定着が望まれる。</p> <p>【補習・その他】 課題プリントや授業中に指示した宿題について、提出を求める場合がある。</p>			
学習の計画 と ねらい	1 1学期 (1) 期末考査まで ア 物質の状態		<ul style="list-style-type: none"> ・ 元素と単体・化合物、粒子の熱運動と物質の状態について理解する。 	
	2 2学期 (1) 中間考査終了から期末考査まで ア 物質の構成 (ア) 物質の構成粒子 (イ) 化学結合 イ 物質の変化 (ア) 物質質量と化学反応式		<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子の構造と電子配置について理解する。 ・ イオンの生成について理解する。 ・ 元素の周期表の特徴について理解する。 ・ イオン結合・共有結合・金属結合の特徴とそのしくみについて理解する。 ・ 物質質量の意味と、その計算法について習熟する。 	
	3 3学期 (1) 学年末考査まで ア 物質の変化 (ア) 酸と塩基 (イ) 酸化還元反応		<ul style="list-style-type: none"> ・ 化学反応式の量的関係について理解を深める。 ・ 中和反応について習熟する。 ・ 酸化還元の基本反応について理解を深める。 	
評価規準	知識・理解	技 能	思考・判断・表現	関心・意欲・態度
	自然の事物・現象について、基本的な原理・法則を理解し、知識を身に付けている	観察・実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に整理することができる。	自然の事物・現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、科学的に考察し、的確に表現できる。	自然の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとする科学的態度を身に付けている。
評価方法	定期考査や課題考査の成績を重視するが、授業における課題等の提出状況や出欠状況、授業態度も含め、総合的に判断して評価する。			
そ の 他	資料集を用いた学習、実験・観察、演習等を通して探究的な学習を実施する。センター試験では、知識量だけでなく内容を正しく理解しておくことが必要である。大学の二次試験では、十分な内容理解と表現力が大切になってくる。			